

セバスト  
ガチャヨウ号



Goshō Nursery And Children's Recreation Center

先月の子どもたち

思いきり汚れて  
思いっきり遊べ★



No.268

10月号

2025



## こども園便り 御所こども園

### もうすぐ運動会

十月十一日は運動会です。ふれあいスポーツランドのクレイ広場をお借りして行います。かけっこや綱引き、玉入れなど全力で競い合います。

観覧される保護者の皆様も、長時間暑い中で過ごされることになりますので、ご自身の熱中症にも十分ご注意ください。子どもたちが精一杯頑張る姿に、温かいご声援をお願いします。

地域合同避難訓練 九月十六日

柿木田中町内会と谷山消防分団の皆さんにご協力をいただき、地域合同避難訓練を実施しました。私たち職員も、地域住民の一員であることを改めて自覚し、防災意識を高める機会となりました。ご協力ありがとうございました。



／ 煮干し \ / 昆布 \ / かつおぶし \



### 出汁の味比べ



9月の食育体験では、煮干し・かつお節・昆布の出汁の味比べをしました。子どもたちは「出汁って何だろう?」という素朴な疑問から始まり、どんな素材を使っているのか、どうやって出汁がとれるのかに興味津々でした。飲み比べでは「この味好き!」「これがかつお節かも」と友だちと会話を弾ませながら、楽しく味わっていました。

(以上、主幹教諭  
下達)



## 給食便り

### 秋の訪れ

日が落ちるのが随分早くなり、秋の訪れを感じる季節となりました。今月の給食では、秋の食材である『さつま芋』を使って、さつま芋ご飯やスイートポテト、蒸しさつま芋を提供しました。さつま芋は、糖質や食物繊維を多く含み、免疫力強化に役立つ食材です。栄養たっぷりの給食を食べて、元気に過ごしましょう。

(以上、給食室 石原)



(以上、食育向上グループ 松岡)

## 食の安心・安全

### 食事中の危険

食事中に発生する事故として、誤嚥や誤飲の他に箸やスプーンを口に咥えたまま転倒する『のど突き事故』があります。こども園では、のど突き事故が起きないよう食事中の見守りは、多くの職員で行っています。また、おかわりのときは、必ず箸やスプーンを置いてから席を立つように指導して、事故が起きないようにしています。

交通安全教室 九月十日

ヤマト運輸さんの指導による交通安全教室が行われました。大きいトラックからは子どもたちの姿が見えづらいことを教えていただき、『ここにいるよ!』という気持ちで大きく手を挙げるようなど指導がありました。クロネコくん、シロネコちゃんの登場に子どもたちは大喜びで、元気よく手を挙げ横断歩道を歩く練習をしました。

(以上、リスクコントロールグループ 大山)

## 健康便り

### インフルエンザの予防接種

インフルエンザは、寒い時期に流行する感染症です。しかし、今年はすでに鹿児島県内での流行が始まっています。予防には予防接種を受けることに加え、手洗いやうがい、十分な休養をとることが大切です。予防接種は、十月から開始されます。体調の良いときにご家族でワクチン接種をしておきましょう。

(以上、看護師 兼廣)





## ホット!! カメラ



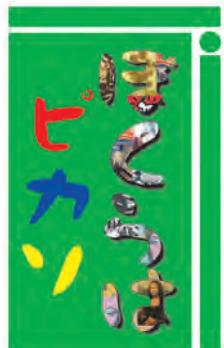
### 夏祭りごっこ

法被にねじりはちまきを身に付けて、気合い十分で参加しました。『ドラえもん音頭』もバッカリでした。



## 見て見てー ぼくたち、わたしたちのアイデア

今年度が始まって半年が経ちました。ぱんだ組やひよこ組の子どもたちは、それぞれにお気に入りの玩具を見つけ、遊びを工夫する姿が多く見られるようになってきました。身近な玩具を使って新しい遊び方を考えたり、思いついたことを試したりする中で、「こんなこともできる！」と喜びを感じる子どもたちの姿があります。今回はその可愛らしい発想を紹介します。



ねえねえ、スカートになったよ



ボールを入れておっぱいができたよ



ここに入るかな、つかめるかな？



可愛いブレスレットでしょ



トングでつかもう



ニンジャになったよ



ドラえもんになつたよ

子どもたちの発想は一つの遊びにとどまらず、無限に広がっていきます。最初は一人で楽しんでいた遊びも、友だちと共有したりアイデアを真似したりしながら一緒に工夫していく姿が見られます。その積み重ねが、子どもたちの関係性や表現の豊かさにつながっていきます。これからも、子どもたちの発想やひらめきを大切にし、保育者としてその瞬間を見逃さず受けとめていきたいと思います。 (0、1歳児担任 兼廣)

## 児童クラブ便り 児童クラブ未来



ダンス



水遊び



豆挟みリレー



新聞輪投げ

秋とは名ばかりの暑い日が続き、子どもたちは汗びっしょりの真っ赤な顔で来所しています。運動会の練習も始まったようで、「疲れた！」と言いながら来所することもありますが、おやつを食べて一息つくと元気をとりもどします。世界陸上や世界バレーの話で盛り上がることもあります。最近は、男女問わずダンスに夢中で、音楽に合わせて上級生が振り付けを考え、下級生も一緒に踊っています。フォーメーションも自分たちで工夫し、みんなで息を合わせて踊ることを楽しんでいるようです。

（以上、クラブ長 高崎）

今回は、三年生の女の子四人をご紹介します。

三年生の子どもたちは、和やかで、ときにハツラツと遊ぶ姿が印象的です。外では一輪車に挑戦したり、滑り台でよく遊んだりしています。最初は乗れなかつた一輪車も、上級生に教えてもらしながら諦めずに練習を続け、今では上手に乗りこなせるようになりました。滑り台では、自分たちでさまざまな滑り方を工夫して試し、それを真似する下級生もいるほどです。

学習面では、二年生のときと比べて量が増え、難易度も上がりましたが一生懸命に取り組んでいます。ときには、一年生にわからないところを教える頗もしい姿も見られます。また、隣の子ども園で一歳児のお世話をすることを楽しみにしており、その優しい様子を見ていると心が温まります。

この時期は、自我が形成されるとともに自己立心が芽生えて、学習内容が高度化し『九歳の壁』と呼ばれるつまづきが生じやすい時期でもあります。一方で、友だちとの関係が密接になり集団行動が増える中で、他者の気持ちを理解する力も育ち、社会性が身につく大切な時期です。子どもたちが安心してのびのびと過ごせるよう、成長を楽しみに見守っていきたいと思います。

（児童支援員補助員 仲村）



### 羽ばたけ学童さん

## トリックオアトリート!

## 学童新聞

10月号

ハロウィンは「サンクスギビング」という秋のしゅかん祭が始まりといわれています。そして、日本のお盆と同じように亡くなった人の靈が家族に会いにくると信じられています。しかし、それといしょに悪い靈や巫女がやってきて、作物をあらしめたり、子どもを連れさったりと、悪さをするおそれられる日でもありました。



そこで、じゅうかく祭の夜、人びとは、か面をかぶったり、かそうしたりして、まものたちを追い払うそうです。ハロウィンの日にかそうをするのは、「おかしをあげるから帰ってください」と悪い靈を遠ざけるためとも言われています。

今月は「月の動き、方」について調べました。毎月の見える位置は時々くにます。これは、月が三日月や満月などの形を変えても同じです。7月の形は、月が太陽の光をうけている部分が地球から見えます。

- ①子どもが「人もいなり日比虫そなーんだ?」  
 ②山の頂上にあるパンでなーに?  
 ③29回やりて食べろ。  
 ④あさあきてがおーと  
 ⑤う花はなーんだ?  
 ⑥イラストコーナー  
 フルーツのなかたち二ねん二こね

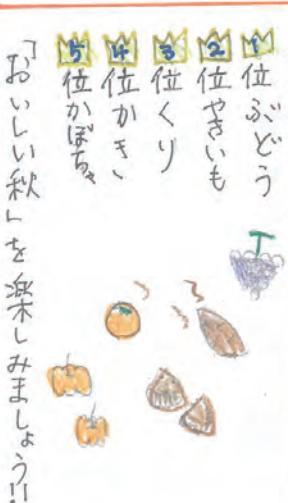
## わくわく理科コーナー

## なぞなぞコーナー



る角度によて満月、三日月、新月と変わります。  
 秋に食べたいものを聞こみました。

## 食欲の秋 ランキング



- ①かき  
 ②かぼちゃ  
 ③かぼちゃ  
 ④かぼちゃ



(記者 岩坪・堂原・長田・湯ノ口・吉松・片岡ひ・片岡み・一氏・森山)

## 一人ひとりの育ちを大切に

4月から始まった新しい生活も気づけばもう半年。初めは少し不安そうだった子どもたちも、今では新しいクラスでの生活にすっかり慣れ、笑顔で過ごす日が増えました。この間にできることがどんどん増え、友だちとの関わりも深まっています。心も体もぐんと成長する姿に日々驚かされています。ご家庭では、お子さんの「できた！」の瞬間をどのように感じていらっしゃいますか？

### 比べてしまう気持ち、ありませんか？

周りの子と比べて「うちの子はまだこれができない」「あの子はもうこんなことができるのに」と、焦りを感じることもあるかもしれません。子どもの成長は一人ひとり全く違います。得意なことも、興味を持つことも、成長のスピードも、それぞれに個性があります。

### その子の「今」を大切に

大切なのは周りと比べることではなく、その子自身の成長のペースを尊重することです。大人がその子の『今』にしっかりと目を向け、日々の小さな成長を見つけてあげることが、子どもたちの自己肯定感を育むことにつながります。



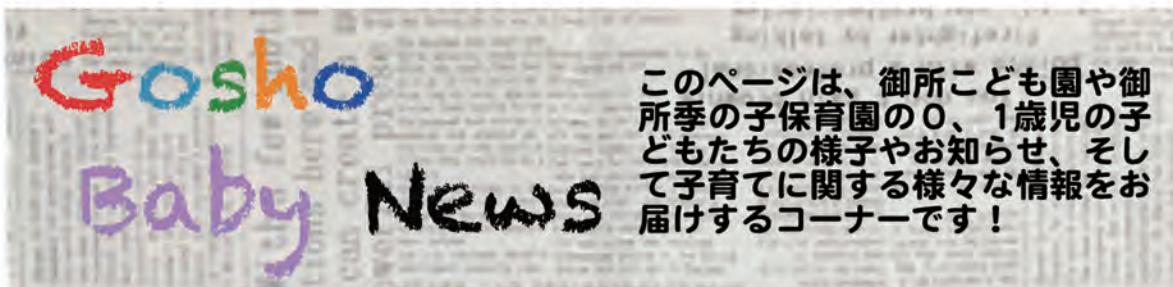
これからも、一つひとつの関わりを大切にしながら「昨日よりこれができるようになったね」「こんなことに興味があるんだね」と、ありのままの子どもたちの姿を受け止めていきましょう。そうすることで、子どもたちは安心して自分らしいペースで大きく育っていくことができます。ご家庭で悩んでいることがありましたら、当法人では様子観察や個別相談の機会も設けていますので、どうぞ気軽にご相談ください。

(以上、保育向上グループ)

## 今月の コラム

# 親コラム





## 子どもの命を守るチャイルドシート

送迎や買い物、お出かけのときに欠かせないチャイルドシート。多くのご家庭で利用されていますが、まれに大人用の座席や膝の上に座らせたまま運転している姿を見かけることがあります。今回は、改めてチャイルドシートの大切さについてご紹介します。

チャイルドシートには『ベビーシート』『チャイルドシート』『ジュニアシート』の3種類があり、お子さまの年齢や体格に合わせて使用します。



ベビーシート



チャイルドシート



ジュニアシート

- ・6歳未満は着用義務があります（病気や療養中などの場合を除く）。
- ・6歳以上でも身長150cm未満のお子さまは、ジュニアシートを使うことで大人用シートベルトの安全性を確保できます。
- ・着用していないと、衝突や急ブレーキの際に体を強くぶつけたり、車外に放り出される危険があります。

チャイルドシートを選ぶ際は『Eマーク』が付いているものを見ましょう。安全基準には従来の『R44』と最新の『R129』があります。ご家庭の車に適合するかどうかを確認が必要です。「子どもが嫌がるから…」という声も聞かれますが、チャイルドシートを着用していない場合、事故時の致死率は着用している場合の約4倍に上がるといわれています。お子さまの命を守るために、日々の送迎やちょっとした外出のときにも、必ずチャイルドシートを正しく使用しましょう。

（以上、環境向上グループ）

## 保育園便り 御所季の子保育園

空高く澄んだ秋晴れの日が続き、戸外遊びが心地よい季節になりました。子どもたちは落ち葉を舞い上げたり、木の実を手にしたりと、秋ならではの発見を楽しんでいます。一方で、朝夕は冷え込む日も増えてきました。衣服の調節に気をつけながら、元気に秋の日々を過ごしていきたいと思います。

秋刀魚の炭火焼き 九月十八日

秋の味覚『秋刀魚の炭火焼き』を楽しみました。子どもたちは、焼き網の上でじゅうじゅうと音を立てる秋刀魚を興味深そうに見つめ、「いいにおい！」と嬉しそうな声をあげていました。焼きたての秋刀魚を味わい、秋の風情をたっぷりと堪能しました。

(以上、保育士 稲留)



### ホッと!!スナップコーナー

目を守ろう

十月十日は『目の愛護デー』です。園では戸外遊びや製作活動を通して、子どもたちが目をしっかりと使い、自然や周囲の変化に気づく力を育んでいます。



### 健康便り

- 目の健康のポイント
  - 読書やタブレットを使うときは、画面との距離や姿勢に気をつける
  - 長時間の使用は避け、こまめに休憩をとる
  - 遠くを見る
  - 自然観察の遊びで目をリフレッシュする
- 園では遊びや日常の活動を通して、子どもたちが目を大切にする習慣を育んでいます。ご家庭でも一緒に取り組み、読書やタブレット使用時の姿勢や休憩に配慮しながら、子どもたちの目の健やかな成長を支えていきましょう。
- (以上、保育士 諸隈)

## 給食便り

### 秋の食材で育む咀嚼力と栄養バランス

十月は、さつまいも・きのこ・根菜など、食物繊維が豊富で噛み応えのある食材が旬を迎えます。これらをよく噛んで食べることは、あごの発達や歯列の形成を助けるほか、唾液分泌を促し消化吸収を高めます。また、食物繊維は腸内環境を整え、免疫力向上や生活リズムの安定にもつながります。園では噛む音や食感を言葉にしながら、子どもたちが楽しんで咀嚼できるよう丁寧に声かけを行い、食べる意欲を引き出しています。ご家庭でも秋の味覚を取り入れ、食べる力と健やかな体づくりを一緒に育んでいきましょう。



### 九月の献立より チーズケーキ

【材料】(五人分)

- クリームチーズ：一〇〇グラム
- マーガリン：一五〇グラム
- グラニューコーヒー糖：五〇グラム
- 卵：五個
- 生クリーム：一〇〇グラム
- 小麦粉：二三三グラム
- レモン汁：八グラム

### 【下準備】

- ・クリームチーズとマーガリンを常温に戻す
- ・オーブンを一八〇度に予熱しておく

### 【作り方】

- ①ボウルにクリームチーズとマーガリンを入れ、滑らかになるまで練る。
- ②①にグラニューコーヒー糖と卵黄を加えて、よく混ぜ合わせる。
- ③②に生クリーム、レモン汁を加えて、泡立て器で混ぜ合わせる。
- ④③に小麦粉をふるい入れ、粉気がなくなるまで混ぜ合わせる。
- ⑤④を型に流し入れ、表面をならして、オーブンで三〇分程度焼いたら完成。（以上、栄養士 川田原）



## 避難訓練 ～みんなで守る、みんなの安全～

御所季の子保育園では、子どもたちの安全を守るために、年間を通して火災・地震・火山・洪水・感染症・不審者対応など、さまざまな場面を想定した避難訓練を計画的に行ってています。どのような非常時にあっても、職員が迅速に行動できるように、また子どもたちが落ち着いて保育者の声をしっかりと聞き、安全に避難できるように取り組んでいます。

### 感染症



感染症の発生を想定し、職員による対応訓練を行いました。手順や役割分担、連携の確認を行い、緊急時に迅速に対応できる体制を整えています。

### 洪水



洪水を想定し、高所や避難経路を確認しながら、園児の安全な移動や、限られた職員での役割分担、保護者への連絡体制を整える訓練を行っています。

### 不審者対応



不審者の侵入を想定し、園児を安全に避難させる誘導方法や職員の役割分担、通報・連絡体制を確認し、第一に子どもの命を守るように訓練を行っています。

訓練を繰り返す中で、子どもたちは火災や地震の際の約束を確認し、実際に行動に移す力を少しづつ身につけています。園での経験は、いざという時に自分の命を守る大切な力となります。これからも子どもたちが安心して生活できるよう、意識を高めながら日々の保育を進めてまいります。

(以上、広報グループ)



次回の『セバストガチョウ号』も、どうぞお楽しみに！  
(岩井迫)

肌寒い日が少しづつ増え、秋の訪れを感じるようになります。

ついこの間まで半袖で過ごしていたのに、朝晩はもう肌寒く、エアコンを消してしまうほどです。そろそろ衣替えの季節ですが、押し入れに大事にしまってある子ども服は、きっとサイズアウトしていることでしょう。育ち盛りの子どもは、ワンシーズンで服が着られなくなるとわかつていても、毎年大切に片づけている自分について笑っています。皆さんも同じような経験はありませんか？

肌寒い日が少しづつ増え、秋の訪れを感じるようになります。

ついこの間まで半袖で過ごしていたのに、朝晩はもう肌寒く、エアコンを消してしまうほどです。そろそろ衣替えの季節ですが、押し入れに大事にしまってある子ども服は、きっとサイズアウトしていることでしょう。育ち盛りの子どもは、ワンシーズンで服が着られなくなるとわかつていても、毎年大切に片づけている自分について笑っています。皆さんも同じような経験はありませんか？

編集後記